3M Construction Markets Division
Instruction Bulletin

取扱説明書
3M™ スコッチティント ™ ウインドウフィルム

反射低減飛散防止フィルム

【適用範囲】
本書は以下の３M™スコッチティント ™ウィインドウフィルムに適用します。
・LR2CLAR

【施工】
施工手順・方法は一般的な３M™スコッチティント ™ウインドウフィルムに準じます。
詳細は見本帳及びマニュアルなどの専用資料（※）をご参照ください。本製品に特有の注意事項は【注意事項】をご参照ください。
※『ガラス用フィイルム工事の施工マニュアル』（日本ウインドウフィルム工業会発行）
『３M™スコッチティント ™ウインドウフィルム及び３M™ファサラ ™ガラスシェード施工手引書』
（住友スリーエム㈱ コンストラクションマーケット技術部発行）

【注意事項】
基本的な注意事項は３M™スコッチティント ™ウインドウフィルムに準じます。

■製品に特有の注意事項
・本製品は屋内専用（内貼専用仕様）の製品です。外壁ガラスへのご使用は内貼りのみになります。
・本製品は表面に傷付き防止コート層がありますが傷が付くと目立ちやすいため、施工時にはスキージーが直接フィルム表面と接触することのないように剥離フィルムで覆ってから圧着してください。その際、剥離フィルムは粘着剤側の滑りやすい面を上にしてご使用ください。
・本製品は一旦折れると折れスジが付き、修正不可能な外観上の不具合になります。
・本製品はいずれの環境においても一定の反射低減効果はありますが、以下のような場合はガラスへの反射自体が強く、効果が感じられない場合がありますので、ご注意ください。
  - 反射しているもの（映り込んでいるもの）が極端に明るい場合
  - 元々反射が強いガラスに貼付する場合（例：複層ガラス、熱線反射ガラス等）

■一般的な注意事項
・ロットにより色柄に多少の差異が生じることがあるので可能な限り同一ロットをご使用ください。
・製品の巾方向（左右）で色差が生じることがありますので突き合わせ貼付する場合は、同じ側の端部が突き合わせになるように貼付（テレコ貼り）してください。
・施工したガラスのフィルム表面にコーキング等の目的でマスキングテープのような粘着テープを貼り付ける際には、以下の点にご注意ください。
  ①粘着テープは弱粘着タイプのものをご使用ください。
  ②フィルム表面に長時間貼付しないでください。
  ③粘着テープを剥がす際はテープをフィルム外側に向かって出来るだけ１８０°に近い角度でゆっくり剥がしてください。

■製品選定に関する注意事項

・施工箇所について

本製品は内貼り・内装用途製品であるため、外壁ガラスの屋外面に対しては使用できません。

・熱割れについて

貼付するガラスと施工環境によってはガラスが熱割れを起こすことがありますので、熱割れ計算で熱割れの可能性を事前にご確認ください。

・ガラス以外の基材への貼付について

基本的にプラスチック基材などガラス以外の基材への貼付はお勧めしません。プラスチック基材は表面から気体が発生してフィルムの膨れや剥がれが生じることがあります。プラスチック基材へ貼付する場合は一旦プラスチック用下地調整フィルム SH2CL-P（※）を貼付し、その上から本製品を重ねて貼付することができます。この他に SH2FGIM-P、SH2EMOS-P の２製品はプラスチック基材に直接使用できます。

※製品の詳細および取扱い方法については専用資料をご参照ください。

■使用環境（施工場所）に関する注意事項

・耐水性について

頻繁に水分と接触する場所（※１）での使用はお勧めしません。

一時的に結露が発生する場所では耐水プライマー（※２）を使用して貼付施工してください。

結露などによりフィルムの端部から水が浸入する可能性がある場所ではエッジシーラー（※３）をご使用ください。

※１：水中、温泉、サウナ、温水プールなど

※２：３M社製プライマー　ＸＢ－５８７３

※３：３M社製エッジシーラー　＃８６００

・耐熱性について

一時的に８０℃になる環境では問題はありませんが、常時８０℃になる環境では使用できません。

密閉空間など熱がこもりやすい場所への施工はお勧めしません。

６５℃以下の環境でご使用ください。

■貼付施工に関する注意事項

・貼付推奨温度：　１０℃～３０℃

・フィルムを小径に巻くと剥離フィルムから剥離（ポップオフ）することがあります。

・剥離フィルムから部分的に剥離（ポップオフ）したまま放置した後にフィルムを貼付すると、剥離した部分に痕が残ることがあります。フィルムがポップオフしたら直ちに貼付すれば剥離痕は通常残りません。

・製品ロットにより色調に差異が生じることがあるので、異なるロット製品を隣接して貼付しないでください。

・フィルムの重ね貼りはできません。（プラスチック基材用フィルムを除く）

・施工時の水分が施工完了後もしばらくガラスとフィルムの間にわずかに残り、小さな水泡が残ったりフィルム面が曇って見えたりする現象（水残り現象）が発生しますが、通常フィルムが正しく施工された場合は水分の蒸発とともに消滅します。但し、日影や気温が低い場合にはある程度日数を要することがあります。水抜けを促進するためには室内温度を上げるか、強制的に送風するなどすると短時間で水が乾燥します。

・フィルム表面にマスキングテープ（※）などを貼りつけて数時間放置した後に剥すと、条件によっては製品表面のハードコート層が剥離、脱落することがあるのでご注意ください。

※弱粘着タイプのマスキングテープをご使用ください。

・施工液にアルカリ系洗剤を使用すると粘着剤が黄変する可能性がありますので、必ず中性洗剤をご使用ください。

■使用上の注意事項

・フィルム表面に硬いものが接触すると表面に傷がつくことがありますのでご注意ください。

・フィルム表面にステッカーやシールを貼ったりマジックなどで書いたりしないでください。

【輸送・保管】

・ 高温、高湿と直射日光を避け、0～38℃の暗所に保管し、購入後１年以内にご使用ください。
※短時間であれば、厳しい条件でも使用可能ですが、変色、やけ等の外観変化や性能劣化が早まりますのでご注意ください。
・ 使用後のフィルムロールは、フィルムのゆるみがなくなるようにしっかり巻き締めて、端をテープで止めてフィルムがほぐれてこないようにしてください。
※フィルムの巻き方がゆるいままで保管すると、剥離フィルムとフィルムの間に空気が入り、外観不具合が起きる原因になりますのでご注意ください。
・ フィルムロールは専用のポリ袋に包み、開封前と同様の状態で保管してください。
※湿気を防止することにより、製品劣化を抑制します。
・ フィルムロールはロールの両端にキャップを取り付け、必ず宙づりの状態で専用の梱包箱へ入れて保管してください。
※1 つの梱包箱には複数本ではなく、１本のフィルムロールを収納してください。宙づりの状態でない場合、表面の傷やしわ等、外観不具合の原因となる可能性があります。
・ フィルムロールよりカットしたシート状フィルムは、その都度、使い切るようにしてください。
※シート状では上記推奨の保管方法が難しいため、外観不具合や性能劣化の原因となる可能性があります。

【清掃／メンテナンス】

フィルム表面に汚れを付着させたままにするとフィルムの劣化が早くなります。また、汚れによって光透過率など光学特性が変り遮熱性能が低下したり熱割れを起こしたりする可能性があります。フィルムの性能を維持するために定期的に清掃を行なってください。清掃／メンテナンス方法の詳細についてはカタログをご参照ください。

■清掃時の注意点

１）ゴムスキージやぬらした柔らかい布で軽く水洗いしてください（乾拭きは厳禁です）。
２）ブラシや研磨剤などは使用しないでください。
３）付着した塗料やコーキング材などは除去してください。
４）クリーニングする場合は事前に多量の水で砂やほこりを除去してください。

【廃棄】

本製品の主素材はポリエステル系樹脂です。自治体の法令／指示に従って廃棄処分してください。

製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り当社は責任を負いません。

3Mは、3M社の商標です。

住友スリーエム株式会社
コンストラクションマーケット事業部

http://www.mmm.co.jp/cmd/scotchtint
http://www.mmm.co.jp/cmd/fasara

© 3M 2013. All rights reserved

IB-CMD SP06-01
2014/02/24